

(この用紙は資源保護のため再生紙を使用しています)



## 9月 巡回診療 日程表

● 毎月1回は保険証の提出をお願いします ●

会場	診療日	時間(午後)	担当医
見立	3(木)・24(木)	2:00～ 2:30	有田医師
虫崎		3:00～ 3:30	
北小浦	17(木)	2:00～ 2:30	
黒姫		3:00～ 3:30	

会場	診療日	時間(午後)	担当医
鷺崎	18(金)	2:00～ 3:00	石塚医師
藻浦	7(月)・28(月)	2:10～ 2:40	大森医師
願		3:10～ 3:40	
北鶴島	14(月)	2:15～ 2:45	
真更川		3:00～ 3:30	
江積	10(木)	2:30～ 3:00	小林医師



### 保健師メモ ジェネリック医薬品について



最近、「ジェネリック医薬品」について、テレビのCMでよく耳にします。両津病院でも平成25年度より、ジェネリック医薬品の導入を始めました。巡回診療で薬を処方される際「いつもの薬と名前が変わった」と、感じられた方もいると思います。今回は『ジェネリック医薬品(後発医薬品)』について紹介します。

## ジェネリック医薬品とは

ジェネリック(後発)医薬品とは、先発医薬品と「同じ有効成分を同じ量含み、同じ効果や作用が得られる医薬品」の事です。先発医薬品は、新薬開発のため、研究費用や時間がかかります。しかし、ジェネリック医薬品は研究開発に要する費用がかからない分、安くなります。

※先発医薬品の特許期間満了後、ジェネリック(後発)医薬品が製造されます。

(例) 高血圧症の薬<1例>

先発医薬品	ジェネリック(後発)医薬品
「ノルバスク錠」 製薬会社 1社独占製造	「アムロジピン錠○○○」 40社製造
	 2割～5割 安くなる

## ジェネリック医薬品の名前が「難しい・長い」のはなぜ

● 医薬品には「商品名」と「成分名(一般名)」があります。

例えば、有名なうがい薬としてイソジンがあります。消毒薬であり、医薬品として使用されています。この時の「イソジン」は商品名であり、その成分自体は「ポピドンヨード」と呼ばれます。処方せんに「イソジン」と商品名が書いてあれば「イソジン」を渡してくれます。ただし、処方せんに「ポピドンヨード」と成分名(一般名)が書かれていれば、一般名処方としてどの銘柄の薬(ジェネリック医薬品)を渡しても良いことになっています。ジェネリック医薬品の薬の名称は「成分名(一般名)」を使用することが多くなっています。



薬については、主治医にご相談してください。